

2017 年度(平成29年度)学校評価自己評価表

一ツ橋中学校区	校番 25	福山市立一ツ橋中学校
最終更新日	2017年(平成29年)9月29日	

I 福山市

ミッション	福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。
ビジョン	「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。

II 中学校区

前年度学校関係者評価の主な内容 「中学校区や学校のめざす子ども像」「中学校区や学校の児童生徒の現状や課題」「学校の重点目標」「短期経営目標や評価項目・指標等の達成状況」等がよく分かった。	児童生徒の現状 中学校教員による出前授業や小中合同音楽発表会の開催等により、児童は小学校段階から中学校を意識した言動が見られるようになり、落ち着いた学校生活を送っている。ただ、小学校の不登校児童が中学校に入学しても不登校の状態にあり、その対策は不十分である。また、学力の定着状況についても課題がある。	育成する力 21世紀型“スキル&倫理観” めざす子ども像 (義務教育修了時の姿) 中学校区として統一した取組等	「課題解決力」「論理的な思考力」「主体性・積極性」「コミュニケーション力」 ・自分にあった課題が設定でき、解決過程での体験や結果を生活や学習に生かしている。 ・根拠を明らかにし、筋道を立てて考えながら、過程や結果をまとめたり、説明したりすることができる。 ・さまざまな集団の中で、自己の役割を意識し、積極的に活動しようとしている。 ・友達との交流を大切に、相手の話をよく聞いたり、考えを受け止めたりして、お互いの存在や立場を尊重しようとしている。 一ツ橋中学校区学力調査問題を実施することにより、課題を把握し、各校の授業改善に活かす。 合同挨拶運動、音楽発表会、クリーンアップ一ツ橋及び出前授業を実施するとともに、振り返り野公流を行う。
--	---	---	--

III 自校

ミッション 燃えたぎる一ツ橋中魂(心に太陽・情熱と躍動)で、大地を踏まえ大空に向かって羽ばたく人間の育成	学校教育目標 自ら輝く、ともに輝く	現状 <児童生徒> 授業改善等の取組により、授業の中で自分の意見や考えをまとめたり、発表したり、書いたりする場面が増えたと感じる生徒が増加した。しかし、家庭学習を毎日1時間実施している生徒の割合が目標値に達しておらず、内容や生活リズムの徹底の継続した指導が必要である。また、新体力テストにおいて、国・県平均より上回っている項目が、48種目中15種目しかなく、課題が見られる。 <授業> 生徒が「自ら考える場面」等を授業展開の中で設定したり、考えさせる発問を工夫したりしているが、生徒がその解決に向けて話し合い、表現するなどの学習活動を取り入れようとする姿勢が弱い。	育成する力 21世紀型“スキル&倫理観” めざす子ども像 中期 後期	「課題解決力」 自分にあった課題が設定でき、その課題を解決しようとしている	「論理的な思考力」 根拠を明らかにし、筋道を立てて考えることができる	「主体性・積極性」 学級の集団の中で、自己の役割を意識し、積極的に活動しようとしている	「コミュニケーション力」 友達との交流を大切に、相手の話を聞いたり、考えを受け止めたりしている
研究	教科等 主題・内容等	総合的な学習の時間 教師が教え込む授業から、「子どもたちが自ら考え学ぶ授業」への転換～授業のユニバーサルデザインの充実を通して～	めざす授業の姿 繰り返す中でしっかり定着させた基本的な知識・技能や生活体験から得た知識等すべてを活かしながら、他の生徒と意見を交わす中で、生徒自らが主体的に課題解決を図る授業をめざしていく。				

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立一ツ橋中学校

年目	中期経営目標	重点	分類	短期経営目標	目標達成に向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)			最終評価(2月末)				
							□指標に係る取組状況	70%以上 達成評価	70%未満 達成評価	改善方策	□指標に係る取組状況 ◎短期(中期)経営目標の達成状況	70%以上 達成評価	70%未満 達成評価	総合評価
3	自ら考え学ぶ授業の推進(全国及び県の学力調査で県平均以上を8/12以上に)	★	継続	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習1時間以上の生徒を80%以上 生徒アンケート「授業中、自ら考える場面を設定している」「授業が分かる」が85%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 自主学習や宿題(5教科)の提示 授業研究の実施 学期に1回の授業交流週間の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 学期ごとの生徒及び教職員アンケートの実施 授業交流シートにてチェック 	<input type="checkbox"/> 生徒・教職員アンケート <ul style="list-style-type: none"> 家で1時間以上勉強します。(63.7%) 授業中、自ら考える場面を設定している。(84.0%) 授業が分かる。(92.8%) 学期に1回の授業交流週間の実施(1学期にできなかったのが9月に実施) 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ◎家庭学習重点週間の実施や適切な課題提示の見直しを行う。 ◎日頃の授業について工夫をする。(アクションプランの取組より) 				
3	高まり合う学校・学級集団の育成(人が困っている時は、進んで助ける生徒を90%以上に)	★	継続	<ul style="list-style-type: none"> 総合ポイント制度に関わる取組項目を学期に6項目以上 委員会活動、係活動に積極的に取り組んでいる生徒を90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な活動を年間通して評価、表彰する年間総合ポイント制度の活用 6, 11, 1月に学活交流の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 学期ごとの生徒アンケートの実施 学活交流シートにてチェック 	<input type="checkbox"/> 総合ポイント制度に関わる取組項目 <ul style="list-style-type: none"> 1学期実施8項目 <input type="checkbox"/> 生徒アンケート <ul style="list-style-type: none"> 委員会活動や係活動に積極的に取り組んでいる。(92.3%) 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ◎総合ポイント制度に関わる取組後の集約や提示に間をあげないようにする。 ◎今後も「学活交流」を予定通り実施し、交流を図る。 				

4	<p>意欲を高める健康・体力づくりの推進（新体力テストで県平均以上の種目を60%（28/48）以上にする）</p>	★	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・新体力テストで国・県平均以上の項目数を48項目中20項目以上 ・「朝6時半までに起きています」「夜11時までに寝ている」をともに70%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育の授業始めに補強運動の実施 ・講演会を実施 ・学校だより等による保護者啓発の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・学期ごとの生徒アンケートの実施 ・学期に1回の「早寝・早起き」の調査 	<ul style="list-style-type: none"> □新体力テスト国、県平均以上の項目 <ul style="list-style-type: none"> ・14項目／48項目 □早寝早起きの取組 <ul style="list-style-type: none"> ・5月 早寝72.9% 早起き82.8% ・9月 早寝81.1% 早起き80.3% 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ◎小学校運動会の練習に中学校教員を集中的に派遣する。 ◎12月マラソン大会に向けて持久走を強化する。 ◎早寝・早起きについて、今後も継続した生徒への指導や保護者啓発を行っていく。 								
1	<p>教職員の資質と指導力の向上（学校が楽しいと思う生徒を90%以上にする）</p>		新規	<ul style="list-style-type: none"> ・教員アンケート「授業においてユニバーサルデザインの充実を図っている」を80%以上 ・生徒アンケート「授業中ペアやグループ学習を設定している」が80%以上 ・思考力、判断力を見取る記述問題の無解答率5%未満、正答率50%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・一ツ橋中学校区小中一貫教育推進デザインに基づく取組みの実施、進捗管理、評価 ・学期に1回の授業交流週間の実施 ・全教科で定期試験に思考力、判断力を見取る記述問題を作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・学期ごとの教職員アンケートの実施 ・学期ごとの生徒及び教職員アンケートの実施 ・学期ごとの生徒及び教職員アンケートの実施 	<ul style="list-style-type: none"> □教員アンケート <ul style="list-style-type: none"> ・授業にユニバーサルデザインの充実を図っている。(85.0%) □生徒アンケート <ul style="list-style-type: none"> ・授業中ペアやグループ学習を設定している。(68.4%) □思考力、判断力を見取る記述問題を全教科全学年で実施。(実施率100%) □定期試験 <ul style="list-style-type: none"> ・正答率 	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ◎授業においてユニバーサルデザインの充実を図っていく。 ◎授業中ペアやグループ学習を意図的に仕組んでいく。 ◎思考力、判断力を見取る記述問題を授業で扱ったり、いろんな問題に取り組ませたり等の工夫を行う。 								

						中間 43.6% 期末 36.2% ・無答率 中間 10.2% 期末 9.8%												
				・国語、数学の学力向上問題の作成、分析、弱点克服の取組	・校区国数研修会を年2回開催 ・	・学力向上問題による検証	<input type="checkbox"/> 校区国数研修会 ・現時点で1回実施			◎学力検定問題の作成等12月までに完成予定。								
4	保護者・地域への積極的な学校情報の発信(本校に通わせてよかったと思う保護者を90%以上に)	★	継続	・学校だよりを年間35号以上発行 ・地域行事、地域ボランティアへの積極的な参加	・学校だよりの発行、全世帯への回覧 ・HPの定期的な更新 ・地域行事、地域ボランティアの周知	・学期ごとの生徒、教職員及び保護者アンケートの実施	<input type="checkbox"/> 学校だよりの発行。 (14 / 35 発行) <input type="checkbox"/> 休日等、地域ボランティア活動への参加数 (45名) <input type="checkbox"/> 地域行事に太鼓部、吹奏楽部の出演 (計3回参加)	3	3	◎学校だよりやポスター等を活用して、多くの生徒に地域ボランティア参加を呼びかける。								

[プロセス評価の評価基準]		[達成評価の評価基準]		[総合評価の評価基準]		
評点	評価基準	評点	評価基準	評点	評価基準	
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。	5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。	5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。	4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。	4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。	3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。	3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。	2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。	2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。	1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。	1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。